

ふらりらいふらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 5

今月は、“読書の秋”にちなみ新着雑誌、類似施設資料、新聞について紹介します。

◆ 新着雑誌は、どんなものがあるか。

週刊誌（入口、新聞架にあります。）……「AERA」「サンデー毎日」「週刊読売」
一般誌・専門誌（新着雑誌棚にあります。）
図書館・博物館学関連……「図書館雑誌」「博物館研究」「記録と資料」ほか
文芸・芸術関連……「文芸春秋」「中央公論」「新潮45」「芸術新潮」
風俗・生活文化関連……「風俗史学」「国民生活研究」「暮らしの手帖」「サライ」
歴史・戦争関連……「日本史研究」「歴史と旅」「軍事史学」「軍縮問題資料」
「郷友」「水交」「偕行」「わだつみのこえ」「丸」

◆ 類似施設(博物館、資料館等)の資料はどのくらいあるか。

現在、収集に努めています。

広報資料(「〇〇だより」「△△報」など)は、類似施設棚のファイルに綴じてあります。
研究紀要、年報類は閉架にあります。

◎これらの新着雑誌と類似施設資料については、コンピューターにデータがありません。
雑誌棚にある「継続雑誌リスト」でご確認ください。
また、見つからない場合やわからない場合等、カウンター職員におたずねください。

◆ 一か月前の新聞が見たい。

当日の新聞は、新聞架にありますが、それ以前は書庫におおむね2ヶ月間、保存しています。請求してください。但し、縮刷版があるものは縮刷版をご覧ください。
(縮刷版が発行されていない「産経新聞」「東京新聞」は、本紙を6ヶ月保存しています。)
なお、地方紙はありませんので、ご了承ください。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。

検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。

操作方法等がわからない場合は、カウンター職員までお気軽に…。

・・・もう一冊！！！！・・・ ④

さて、もう一冊・・・もう一冊・・・と検索キーを叩いている内に4回目になってしまいました。今回はやはり昭和館らしく「代用品」を出してみましよう。

物資の不足から、本来の材料を使えなくなって、ありあわせの素材で作った道具や食べ物のことですね。主に、金属が無くなって木製や陶器製になった生活用品を言うことが多いようです。

まず、「図書を調べる」画面で「言葉」に代用品を入れてみます。

すると…結構出ますね。

まず代用品ってどんなものなのか。「資料週報」(内閣情報部)に「代用品の話」(商工省)があり、代用品の概念が分かります。でも、具体的にはどんなもの。との疑問に対しては、「ある報道写真家の見た昭和30年史」(1995年景山光洋)に木炭バスの写真があります。ほんとにチャンと走ったのでしょうか？。

世の中代用品が巾を利かせれば、商店も便乗しないわけには行かないわけです。

「高島屋135年史」(1968高島屋)には、デパートも戦時色の中で、中古品を扱ったり、代用品を扱った時代の記録があります。食堂のメニューにも代用食が増えたようです。代用食と言えば、一度紹介しましたが、真打は「食べられる野草」(1943、陸軍獣医学校研究部)いきなり・・・野草の生産量と栄養・・・と来ます。野草って生産してたのかな??。なんていう疑問を持つてはいけないのです。あらゆる野草の食べ方の中に、「有毒植物調理法」があるのには驚きます。ウーン、何もそこまで…。

でも国民に一方向的に押し付けるのも気が引けたのか、「独逸人氣質」(1940、芦屋瑞世)では、戦時下のドイツ人がいかに質素で無駄なく暮らしているかを事細かに紹介しています。日本ばかりが大変だったわけではないのですね。

と言うわけで、今回は戦中戦後の生活をうかがえる写真集を探してみます。(午睡)

.....

—図書室から—

まさに秋たけなわ。各地から紅葉のたよりも届く頃となりました。この九段界限では、まだまだこれから…。とはいうものの、朝晩のきりっとした空気に季節を感じる毎日です。

*アンケートにご協力ください。

各閲覧テーブル、カウンターにアンケート用紙があります。お気軽にご記入ください。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ No. 5
1999年10月26日 発行
編集・発行 昭和館 図書室
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1